

早稲田大学 教育学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	120分
特徴・その他	問題文に複雑な式が多用される。題意を把握するのが難しい問いが目立つ。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	小問集合	(1) 行列の計算 (2) 定積分、数列の極限 (3) 整数	標準 標準 難
2	ベクトルと図形 関数の最大・最小	内心をベクトルで表す問題。後半は無理関数の増減を調べる問題。	標準
3	複素数平面と図形 楕円	$Z = a + bi$ などにおいて、平面図形の問題として考える。	標準
4	三角関数、数列の極限	(2)(3) は大きさの評価が難しい。	難

〔総合コメント〕

どの問題も複数分野が融合されており、かなりの演習を積んでおかないと手が出ないはず。数学 の出題が多いので、関数の扱いには慣れておくべきである。